

国語科「書くこと」分科会 提案資料

研究主題

自分の考えをもち、表現できる児童の育成
～説得力のある文章を書くために～



令和4年8月24日

第2部会 栄町立竜角寺台小学校
小林 貴治

1 研究主題

自分の考えをもち、表現できる児童の育成
～説得力のある文章を書くために～

2 主題設定の理由

(1) 学習指導要領から

小学校学習指導要領第2章第1節国語科の目標には

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

とある。

国語科において目指す資質・能力は「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」であり、様々な事物、経験、思い、考え等を正確に理解し、適切に表現できなければならない。日常生活において、正確に理解し適切に表現するためには、人と人との関係の中で、互いの立場や考えを尊重し、言葉を通して伝え合う力を高めることが必要になる。そのために、思考力や想像力を養うことが大切になってくる。

また、「書くこと」の指導に配当する授業時数に関しては第1学年及び第2学年では年間100単位時間程度、第3学年及び第4学年では年間85単位時間程度、第5学年及び第6学年では年間55単位時間程度とされている。その際、実際に文章を書く活動を重視することと示されている。これからわかるように小学校の学習の中では「書くこと」に多くの指導時間が配当されていることから、「書く力」に関する力の伸長の重要性がわかる。

(2) 千葉県の指針から

千葉県の学校教育の充実のためのホームページに第3期千葉県教育振興基本計画を踏まえ、各学校・園においての重点的な取り組みとして

施策1「人生を主体的に切り拓くための学びの確立」

(1) 子どもの学習意欲を高め、学力向上を図る取組の推進

・「自ら課題を持ち 多様な人々と協働し 粘り強くやりぬく子」の育成を目指し、児童の実態に応じた授業実践を推進することで、学習意欲の向上を図る。

「主体的・対話的で深い学び」を実践する単元開発・授業改善に向けた取組の推進

・『『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』及び授業実践資料の活用を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る。

とある。

(3) 学校教育目標及び本校研究主題から

栄町立竜角寺台小学校学校教育目標

心身ともに健康で、たくましく、主体性のある児童の育成
～20年後・30年後の未来を創る子ども達の育成～

栄町立竜角寺台小学校研究主題（道徳科）

多様な見方や考え方に触れ、自分の考えを深める道徳教育のあり方
～日常の学校生活を通して～

本校の学校教育目標は「心身ともに健康で、たくましく、主体性のある児童の育成」である。めざす児童像を「やさしい竜っ子」「たくましい竜っ子」「かしこい竜っ子」として、知徳体のバランスのとれた児童の育成を目指している。また、今年度から「20年後・30年後の未来を創る子ども達の育成」という視点が明記された。児童が今後、持続可能な社会の創り手として、多様な他者と共生していくため、道徳的価値の理解を基に、善悪を判断したり、よりよい生き方を目指したり、自分が正しいと思うことを実現しようとしたりする力を養う必要がある。そこで、道徳科や日常の学校生活での対話や協働により、多様な見方、考え方に触れ、自身の道徳的価値観について自覚し、伸ばしたい自己を深く見つめたり、課題について考えたりして、自分の生き方として実現していこうとする思いや願いを深めることができるようにしたいと考え、研究主題が設定された。

(4) 地域や児童の実態より

竜角寺台小学校は、栄町の南側にある新興住宅地として開発された地区にある。学区の周りには自然が多く、近くには龍角寺古墳群・岩谷古墳や房総のむらがある。児童全員が同じ団地で過しており、似たような生活環境で穏やかに生活している。教育熱心な家庭が多く、保護者や地域の方も学校に協力的である。児童数は120名と多くはないが、行事に意欲的で活気がある。学習面の意欲も高く、与えられた課題は進んで行っている。素直な児童が多い反面、自ら考えて行動しようとする意識が薄い。

アンケート（％）

1	国語科の学習は好き	はい 50.0 いいえ 50.0
2	国語科の授業で自分の考えを書くことは好き	はい 44.4 いいえ 55.6
3	国語科の授業で自分の考えを話したり、友達の考えを聞いたりすることは好き	はい 83.3 いいえ 16.7
4	国語科の授業では、友達と考えを伝え合うことはできている	はい 83.3 いいえ 16.7
5	友だちの考えと違うなと思ったとき、自分の考えを言葉に書ける	はい 44.4 いいえ 55.6
6	文章で伝えることは必要である	はい 72.2 いいえ 27.8
7	何のために文章を書くのか	
	みんなに伝えるため4、口では伝わらないときがあるから2、文字のバランスをとるため、自分の意見を伝えるため、言葉の使い方を学ぶため、日本の伝統だから、あとに残すため、わからない、どのように書けばよいか覚えるため、文を書く練習、書かないといけなから、将来大変にならないようにするため、学習のため	

8	今までの国語科で書くときに気を付けていることは	
	字の大きさ4、ない4、思ったことをしっかりと2、相手に伝わるように2、表現技法、自分の考えをしっかりと書く、きれいに、意味が通るように、漢字で書く、間違えないように	
9	どんな時に字を書きたいか	
	ない4、書きたいと思ったとき3、必要な時2、言われたとき、思い浮かんだとき、やる気があるとき、 静かな時、自分の考えを伝える時、メモする時、説明する時、聞いているだけのとき、学習する時	
10	どんな時に字を書いているのが楽しいか	
	ない6、落ち着いている時、宿題のとき、静かな時、鉛筆の芯が細いとき、絵を描いた後、やることがないとき、問題を作っている時、国語で勉強をしている時、文章を読んで感じたことがあったとき、うまく書けたとき、テストのとき、言われたとき	
11	好きなものについて作文を書く(200字)	
	結論と理由を書け、180字以上書くことができた2 結論と理由を書け、150字程度書くことができた5 結論と理由を書け、100字程度書くことができた6 結論と理由を書けた2 結論は書けた3	

本校の第6学年の児童は、国語科の学習に対し、半分が苦手意識を持っている。国語科の授業で「話すこと・聞くこと」の活動には意欲的に取り組もうとするが、「書くこと」の活動には消極的である児童が多い。ただ、児童たちも「書くこと」の必要性は十分に理解している。児童はこれまでに「書くこと」の活動経験を十分に積んでいなかったため、文章を書こうとしても、失敗したくない、人前で恥をかきたくないという気持ちから、進んで書き始めることができる児童は少ない。そのため、いきなり筆を動かして興味深い文章を書くことができる児童はほんの一握りしかいない。

3 主題について

【B書くこと】

	1・2学年	3・4学年	5・6学年
題材の設定	ア 経験や想像から必要な事柄を集め・確かめ伝えたいことを明確に	ア 相手や目的を意識 経験や想像から書くことを選び集めた材料を比較・分類し伝えたいことを明確に	ア 目的や意図に応じて感じたこと考えたことと集めた材料を分類・関係付ける伝えたいことを明確に
情報の収集			
内容の検討			
構成の検討	イ 事柄の順序に沿って簡単な構成を考える	イ 中心を明確に段落と段落相互の関係 文章の構成を考える	イ 筋道の通った文章 文章全体の構成や展開
考えの形成	ウ 語と語、文と文の続き方に注意 内容のまとまりがわかる工夫	ウ 考えとそれを支える理由や事例との関係を明確に 書き表し方を工夫	ウ 目的や意図に応じて簡単 or 詳しく 事実、感想、意見の区別 考えが伝わる書き表し方の工夫 エ 文の引用 図表やグラフの引用
記述			
推敲	エ 読み返す習慣 間違いを正す 語と語や文と文との続き方	エ 相手や目的を意識 間違いを正す 文や文章を整える	オ 構成や書き表し方などに着目文や文章を整える
共有	オ 文章に対する感想を伝え合い良いところを見つける	オ 文章に対する感想や意見を伝え合い良いところを見つける	カ 文章全体の構成や展開に対する感想や意見を伝え合い良いところを見つける

低学年、中学年、高学年と進むにつれ、指導内容に変化はあるものの、低学年で学習したことを中学年、高学年と発達段階に応じて学習すべき内容が整理されていることに児童が気付くことが大切である。

また、学習指導要領内で内容の取扱いについては、「児童がコンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会を設けるなどして、指導の効果を高めるよう工夫すること。」と示された。1人1台タブレットの整備により、児童が情報収集や情報発信の手段として、インターネットや電子辞書等の活用、コンピュータによる発表資料の作成やプロジェクターによる提示などが容易になった。「書くこと」においてもノートに書くだけでなく、端末を活用していく中で文章を書き表すことも大切になってくる。このように、インターネットを活用して、様々な情報を瞬時に収集できるとともに、自分の文章を世界に向けて発信することも容易にできてしまう時代となってきた。その際に、自分の考えを口頭で伝えるだけでなく、文章で論理的に書き表すことができないと不要なトラブルに巻き込まれる恐れもある。そのため、国語科の学習を通して自分の考えを論理的に表現できる力を身につけさせたい。

そして、千葉県の指針にもあるように、指導計画の中に「見出す」「自分で取り組む」「広げ深める」「まとめあげる」を位置づける。その中で、児童が学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組んだり、児童同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考えを手掛かりに考えたり、他の教科との知識を相互に関連付けて、より深く理解したりできるようにする。

さらに、本校学校教育目標及び研究主題に際し、国語科として、筋道を立てて児童自身の考えを書き表すことで、他者の考え方に触れ、さらに自分の考えを深めることができると考えている。また、日常の学校生活で道徳的価値を実感できるように、各行事の前後に目標と振り返りの文章を書く時間を設け「書くこと」の活動を多く取り入れている。

4 研究の目標

○身の回りの事物現象において、自分の考えを持ち、それを文章を使って表現できる。

- ・「自分の考えを持つ」とは自分の頭で考える時間を確保し、それを書き出すことをねらう。
- ・「表現できる」とは自分の考えを論理的に表現できることをねらう。

自分の考えを持つためには、児童がステップを踏むことが大切であり、全校では、短作文に取り組み、第6学年の学習では、思ったことをメモする活動により、自分の考えを書き表すことができるようになる。

また、国語科の授業で、抽象表現を使わずに自分の考えを表現することを通して、他の場面や他教科でも自分の考えを端的に表現できるようになる。

これらをもとに、国語科の研究主題として「自分の考えをもち、表現できる児童の育成 ～説得力のある文章を書くために～」を設定した。

5 研究仮説

【仮説Ⅰ】 ステップを踏んで文章を書く活動を通して、自分の考えを正確に理解することにより、自分の考えを相手に伝えようとする工夫をするだろう。

① 学年に応じたステップで報告文や説明文、意見文を書く。

高学年

i) 題材の設定情報の収集内容の検討

- ・目的や意図に応じて感じたこと考えたことと集めた材料を分類・関係付ける
- ・伝えたいことを明確にする

ii) 構成の検討

- ・筋道の通った文章を組み立てる
- ・文章全体の構成や展開を考える

iii) 考えの形成・記述

- ・目的や意図に応じて簡単 or 詳しく書く
- ・事実、感想、意見の区別考えが伝わる書き表し方の工夫
- ・文の引用図表やグラフの引用

iv) 推敲

- ・構成や書き表し方などに着目文や文章を整える

v) 共有

- ・文章全体の構成や展開に対する感想や意見を伝え合い良いところを見つける

②一人1台のタブレットを活用し、ワープロソフトを報告文や説明文・意見文の下書きを書く場面で取り入れる。

【仮説2】 題材に対して、簡単な作文を書くことで、語彙力がつき、表現力が高まるだろう。

①国語科の授業から他の教科へどう広げるか

他教科のまとめの掲示物として作ることにし、他者を意識した文章作りをする。

②全校での取り組みで行うこと

- ・週に一度、帯時間での短作文の実践
- ・時間内に決められた文字数で自分の考えを伝える。

構成の検討

低：順序

中：中心を明確に

高：筋道の通った

考えの形成

低：語と語文と文のつながり

中：書き表し方を工夫

高：意図に応じて簡単又は詳しく、考えが伝わる書き表し方

6 仮説の検証の実践

(1) 仮説Ⅰの検証

① スモールステップで報告文や説明文・意見文を書く

② 一人1台のタブレットを活用し、ワープロソフトを取り入れた活動

i) 単元名 環境問題について考えよう (主な教材: 自分の考えをはっしんしよう 教育出版)

ii) 目標

- ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。

[知識及び技能]

- ・「書くこと」において筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えて書くことができる。

[思考力、判断力、表現力等①]

- ・「書くこと」において、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

[思考力、判断力、表現力等②]

- ・粘り強く、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって意見文を書くことができる。

[学びに向かう力、人間性等]

iii) 評価計画 (全7時間)

次	時	学習活動	評価規準・評価方法
第一 次	2	<p>学習の見通しを持つ。 説得力のある文章について考える。 課題に対する主張を考える。 (ステップ i)</p> <p>引用の方法を学び資料を探す。</p>	<p>[知識・技能] 発言 ・学習の見通しをもつとともに、自分が伝えたい、主張を明らかにしている。</p> <p>[思考・判断・表現] 発言・ワークシート ・取材を通して、説得力のある意見文を書くための材料を集め、意見文に書く自分の主張を明確にしている。</p>
第二 次	4	<p>自分の主張を効果的に伝えるための構成を考える。 (ステップ ii、 iii)</p> <p>構成表をもとに意見文を書く。 (ステップ iii)</p>	<p>[思考・判断・表現] ワークシート ・自分の主張を効果的に伝えるための構成表を作っている。</p> <p>[思考・判断・表現] 発言・下書き ・構成表をもとに、説得力のある意見文を書いている。</p>

		<p>説得力のある意見文になっているかを考えながら、自分の意見文を読み返し、清書する。 (ステップiv)</p>	<p>[思考・判断・表現] 発言・下書き ・自分の主張が読み手に伝わるかどうかを考えながら推敲している。 [主体的に学習に取り組む態度] 下書き・清書 ・粘り強く試行錯誤しながら理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書こうとしている。</p>
第三次	1	<p>友達とお互いの意見文を読み合って、感想を伝え合う。 (ステップv)</p>	<p>[思考・判断・表現] 発言・感想 ・意見文を友達と読み合い、表現の仕方に着目して考えや意見を伝え合い、説得力のある意見文を書くための構成や記述の工夫について理解している。</p>

iv) 活用した資料

第一次 自分の主張に対して本やインターネットを使い、根拠を明確にしていく活動(ステップi)
メモをたくさん残すための工夫としてワープロソフトを活用し、引用の文献のメモを残した。

<https://gurilabo.igrid.co.jp/article/776/#:~:text=%E8%A8%AD%E5%AE%9A%E6%B8%A9%E5%BA%A6%E3%81%A7%EF%BC%BB1%E2%84%83,%E6%B8%9B%E3%82%89%E3%81%99%E3%81%93%E3%81%A8%E3%81%8C%E3%81%A7%E3%81%8D%E3%81%8E%E3%81%99%E3%80%82>
設定温度+1°CでCO2やく8Kg削減

はい、中での説明に利用

<https://ci.nii.ac.jp/naid/130001824738#:~:text=%E5%85%A5%E9%99%A2%E6%82%A3%E8%80%85%E3%81%AE%E8%87%B3%E9%81%A9%E6%B8%A9,%E5%AD%A3%E7%AF%80%E5%B7%AE%E3%81%8C%E3%81%82%E3%81%A3%E3%81%9F>
入院患者の至適温環境を求めため、内科病棟において1年間温度測定。患者への温冷感等のアンケート調査及びカルテ調査を実施し、以下の知見をえた。至適温度は秋22~23°C、冬20~21°C、春21~22°C、夏24~25°C、と季節差があった

いろいろな場面での設定温度

<https://kaigo2025.xyz/aircondosette/>
介護施設
春秋 18度~20度
夏 24度~28度
冬 20度~22度

https://hoiku-labo.com/news_174.html
厚生労働省によると、冬の保育室の適温は20~23度といわれています。さらに温度を約60%に保持し、定期的な換気を行うことも勧められています。また外気との温度差は5度以内に調節することがベストです。

平均
異なる意見からの立場

やはり20°Cでは寒いというのもある

しかし27%が20°C

<https://www.nagano-toshi-gas.co.jp/tips/2018/11/heating-temperature.html>
設定温度20°Cを快適に過ごすには？

空気をしりく活弁

風を下向きにする
冷たい空気は下に向かう性質がありますが、反対に、暖かい空気は上へ移動する性質があります。その性質を利用して、エアコンやヒーターなどの吹き出し口を下に向けることで、下から暖かい空気が徐々に上がって行き、部屋全体を効率よく暖めてくれます。また、足元が冷えると寒く感じる場合が多いので、足元から順に暖めていくことが効果的でしょう。

断熱材を使う
ベランダ窓や小窓などの、外から冷たい空気が出入りする場所に断熱材を使うことで、暖かい空気を逃がさず、冷気の進入も防げます。断熱材は窓に貼るタイプのものだけでなく、はめ込むタイプや、カーテン式のものなど、手軽に購入できます。気泡緩衝材(プチプチ)を利用しても良いでしょう。

サーキュレーターを使う
冷房と併用するイメージが強いサーキュレーターですが、部屋の空気を循環させるために使うもので、冷房だけではなく暖房との併用もおすすめです。上ってしまった暖かい空気を室内に循環させることで、室内が暖まるだけでなく、風に乗って暖かさを感じやすくなります。

<https://enechange.jp/articles/air-conditioner-heating-preset-temperature>
環境省が進める暖房温度20°C

<https://enechange.jp/articles/air-conditioner-heating-preset-temperature>

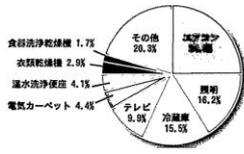
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/kids/climate/global_climate/can.html
エアコンの設定温度は、夏は28°C、冬は20°Cに。

で省エネで節約もいっ

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/general/howto/airconditioning/index.html
無理のない省エネ節約

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/general/replacement/elecric_power/

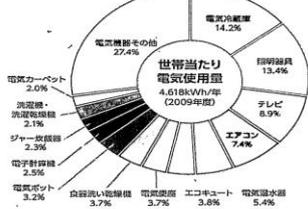
公開日：2013年05月13日 更新日：2014年10月15日



更新日：2017年7月28日

これによれば、電気冷蔵庫が全体の14.2%で1位、2位は照明器具で13.4%、3位はテレビで8.9%、4位はエアコンの7.4%となっています。以下は電気温水器5.4%、エコキュート3.8%、食器洗い乾燥機・電気便座3.7%、電気ポット3.2%と続いています。電気温水器やエコキュート、食洗機はすべての家庭にあるものとはいえません。上位4位までの機器が大きな割合を占めていることがわかります。

家庭部門機器別電気使用量の内訳



総合資源エネルギー調査会省エネルギー部会(第17期)資料「参考資料」トップランナー家庭の現状等について」より作成

5つ星5機種

平均は年間の消費電力量が779kWh
電気料金
21,033円

4つ星17機種

平均消費電力量は
828.5kWh
電気料金の目安は
22,370円

調べた資料から自分の主張に沿ったものを抽出している。

4の削減
電気代との関係

- 6畳向け 16,000円
- 8畳向け 18,800円
- 10畳向け 20,000円
- 12畳向け 28,000円
- 20畳向け 52,000円

省エネ効果の高いエアコンに買い替える

10年前のエアコンと現在のエアコンでは消費電力で約8%の差があると言われます



私の節約の記録

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
電気代	10000	9500	9000	8500	8000	7500	7000	6500	6000	5500	5000	4500	4000
ガス代	15000	14500	14000	13500	13000	12500	12000	11500	11000	10500	10000	9500	9000
水道代	5000	4800	4600	4400	4200	4000	3800	3600	3400	3200	3000	2800	2600
食費	20000	19500	19000	18500	18000	17500	17000	16500	16000	15500	15000	14500	14000
雑費	3000	2800	2600	2400	2200	2000	1800	1600	1400	1200	1000	800	600
合計	53000	50800	49600	48400	47200	46000	44800	43600	42400	41200	40000	38800	37600

お金の使い方

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
電気代	10000	9500	9000	8500	8000	7500	7000	6500	6000	5500	5000	4500	4000
ガス代	15000	14500	14000	13500	13000	12500	12000	11500	11000	10500	10000	9500	9000
水道代	5000	4800	4600	4400	4200	4000	3800	3600	3400	3200	3000	2800	2600
食費	20000	19500	19000	18500	18000	17500	17000	16500	16000	15500	15000	14500	14000
雑費	3000	2800	2600	2400	2200	2000	1800	1600	1400	1200	1000	800	600
合計	53000	50800	49600	48400	47200	46000	44800	43600	42400	41200	40000	38800	37600

電気代削減の記録

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
電気代	10000	9500	9000	8500	8000	7500	7000	6500	6000	5500	5000	4500	4000
ガス代	15000	14500	14000	13500	13000	12500	12000	11500	11000	10500	10000	9500	9000
水道代	5000	4800	4600	4400	4200	4000	3800	3600	3400	3200	3000	2800	2600
食費	20000	19500	19000	18500	18000	17500	17000	16500	16000	15500	15000	14500	14000
雑費	3000	2800	2600	2400	2200	2000	1800	1600	1400	1200	1000	800	600
合計	53000	50800	49600	48400	47200	46000	44800	43600	42400	41200	40000	38800	37600

電気代削減の記録

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
電気代	10000	9500	9000	8500	8000	7500	7000	6500	6000	5500	5000	4500	4000
ガス代	15000	14500	14000	13500	13000	12500	12000	11500	11000	10500	10000	9500	9000
水道代	5000	4800	4600	4400	4200	4000	3800	3600	3400	3200	3000	2800	2600
食費	20000	19500	19000	18500	18000	17500	17000	16500	16000	15500	15000	14500	14000
雑費	3000	2800	2600	2400	2200	2000	1800	1600	1400	1200	1000	800	600
合計	53000	50800	49600	48400	47200	46000	44800	43600	42400	41200	40000	38800	37600

第2次 調べた資料をもとに、説得力を持たせるための構成を考える活動（ステップii）

細かく分類された構成表と、大きく分類された構成表を用意し、ワープロソフト上でも同様に活動できるようにした。

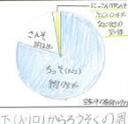
結論			本論						序論			主張	課題		
◆自分の考えや主張	◆話題に対する答え	◆問いかけに対する答え	◆異なる立場の考えなど	◆自分の経験	◆資料から読み取ったこと	◆それを支える事実や事例	◆考えや理由	◆仮定	◆原因や結果	◆自分の主張や考え	◆問いかけ	◆話題説明	◆話題提示	私はエアコンの設定温度は二十度という意見に賛成だ。 二酸化炭素や消費電力もさくげんで済むからだ。	環境問題として、地球温暖化があげられる。これを改善するためにはエアコンの設定温度を二十度にするべきだ。
		せんがくセンター、サーバー、プリンターのそうじなどを する。	しかし、 ^と という 意見があるが、 冬という意見があるが、それは、 風が冷たいことを併用したり、暖房を 工夫することによっておこら てみる。	以前 ^と ということ があった。	以前自分の家の暖房の設定温度を 見てみた。	エアコンの消費電力は使用量は第四位で4割、 冬の7割ほど全体の30%となり一位になります。	理由として ^と とい う考えがある。 があげられる。	もし〇〇ならば、 さだらう。	原因として〇〇 があげられる。そ の結果 ^と 。	である。	さだらうか。	さだらうか。	さだらうか。		
						病院の至て ^と せつ温度も20 ^と で介護せつなどでも 20 ^と 、22 ^と 、赤ちゃんや高い者も20 ^と 、22 ^と が快適な温度とさ まっている。	理由として ^と とい う考えがある。 があげられる。	もし〇〇ならば、 さだらう。	原因として〇〇 があげられる。そ の結果 ^と 。	である。	さだらうか。	さだらうか。	さだらうか。		
						エアコンの消費電力は使用量は第四位で4割、 冬の7割ほど全体の30%となり一位になります。	理由として ^と とい う考えがある。 があげられる。	もし〇〇ならば、 さだらう。	原因として〇〇 があげられる。そ の結果 ^と 。	である。	さだらうか。	さだらうか。	さだらうか。		
						エアコンの消費電力は使用量は第四位で4割、 冬の7割ほど全体の30%となり一位になります。	理由として ^と とい う考えがある。 があげられる。	もし〇〇ならば、 さだらう。	原因として〇〇 があげられる。そ の結果 ^と 。	である。	さだらうか。	さだらうか。	さだらうか。		

おわり	なか	はじめ	主張	課題
話題(問いかけ、課題)に対する答え 改めるの自分の考えや主張	異なる立場の意見 寒いと風が冷たい、サーバー、プリンターを併用 設定温度マイナス一度で約4割(4%)さくげん 至てきせつ温度 暖房の平均設定温度のグラフ	エアコンの有効活用 病院、介護施設、赤ちゃんや高い者の快適な温度 資料(消費電力)が大きな家電 ^と 一位 ^と 四位 ^と グラフから 寒さ対策(暖房時の工夫) 寒いと風が冷たい、サーバー、プリンターを併用	課題提示(課題について) に ^と いての説明 寒さ対策のやり方は ^と 、問いかけ 電力代金のせつ約にも	環境問題において、地球温暖化があげられる。 これを改善するためにエアコンの設定温度を二十度にするべきだ。 課題の設定温度二十度に賛成 CO ₂ や消費電力もさくげんのため

(2) 仮説2の検証

①国語科の授業から他教科へどう広げるか

i) 国語科から理科へ



ものの燃え方

①ろうそくが燃える時の空気の様子は？
 ほんの上と下だけあけていて、けむりの動きを見ました。すると、下から線香のけむりを入れると、下(1)口から空気の割り(2)が動いて、上のあいている所からでていました。その空気が温かくなると、上に行くことでした。空気のなかには、主に酸素(2)と二酸化炭素(1)の空気があります。この2つのうち、燃えるのは酸素だけです。酸素は燃えず、すぐに消えてしまいました。二酸化炭素も、酸素と同じで、すぐに消えてしまいました。線香だけけむりの動きがなくなり、明るくなってやがて消えました。②ものが燃える前と後では、気体検知管や石灰水を使い調べると、ものが燃える前は、酸素が21%で二酸化炭素は約0.03%でした。ものが燃えた後だと、酸素が14%で二酸化炭素は約15%になりました。このことから燃えると、酸素は減り、二酸化炭素は増えることがわかります。

理科新聞

もの燃えかた
 物かき入るときの空気の様子
 けむりを出して、空気の動きを調べました。空気のなかには、主に酸素と二酸化炭素の空気があります。この2つのうち、燃えるのは酸素だけです。酸素は燃えず、すぐに消えてしまいました。二酸化炭素も、酸素と同じで、すぐに消えてしまいました。線香だけけむりの動きがなくなり、明るくなってやがて消えました。②ものが燃える前と後では、気体検知管や石灰水を使い調べると、ものが燃える前は、酸素が21%で二酸化炭素は約0.03%でした。ものが燃えた後だと、酸素が14%で二酸化炭素は約15%になりました。このことから燃えると、酸素は減り、二酸化炭素は増えることがわかります。

もの燃えかたの空気のやり方
 ①の燃えかたのやり方は、ろうそくに火をつけて、ほんの中に入れて、ほんの下から線香のけむりを入れて空気の動きを調べました。次に②の燃えかたのやり方は、酸素の入った試験管に火をついた線香を入れます。二酸化炭素が入った試験管と同じように火をついた線香を入れます。最後に③の燃えかたのやり方は、ベンジの中に線香を集めます。気体検知管で酸素と二酸化炭素の体積を調べ、そこに火をついた線香を入れてみます。火が消えたら、気体検知管を使い体積を調べます。最後に石灰水を入れます。気体検知管とは何ですか？
 石灰水とは何ですか？
 と似た気体と似た気体と二酸化炭素がある。この石灰水を入れると、白濁する。多量に石灰水を入れると、二酸化炭素がこれだけいっぺんにわかる。天然素材を燃やしたとき、二酸化炭素が増える。もの燃えかたのやり方、色もよくわかる。燃やしたとき、色もよくわかる。燃やしたとき、色もよくわかる。

理科の「ものの燃え方」について授業の実施後、学習したことを新聞形式でまとめる際に、国語の表現力が活かされ、気体について学習したことや行った実験の手順や結果を端的にわかりやすくまとめることができるようになった。

ii) 国語科から社会科へ

社会新聞

日本国憲法とは？
 1946年11月3日公布
 1947年5月3日施行
 太平洋戦争が終結し、人々の平和を祈る中、日本国憲法は公布されました。日本国憲法の前身は、日本国臨時憲法であり、戦時体制下で制定されたものでした。戦後、民主主義の原則に基づき、新憲法が制定されました。この憲法は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の三つの原則を掲げています。また、天皇は神聖不可侵であり、政治的行為を行わないことが定められています。この憲法は、日本の政治体制を大きく変革し、民主主義の国へと変貌を遂げました。

国民

国民とは、国家に属する者であり、その権利と義務を担う者です。日本国憲法では、国民は主権の主体であると定められています。また、国民は法律を遵守し、納税の義務を負います。国民の権利として、選挙権と被選挙権が認められています。これは、国民が国家の政治に参加し、国家の未来を決定する権利を保障しています。国民は、国家の発展と平和のために、自らの権利と義務を正しく行使し、社会の秩序と公正を維持する責任を負っています。

社会科「国の政治のしくみと選挙」について授業の実施後、新聞形式でまとめる際に、国語科で学習した図表やグラフを用いて書くことが活かされ、他の学年の児童が6学年で学習することがわかりやすいと伝えていた。

iii) 国語科から道徳科へ

<p>今地球温暖化の原因は、森林破壊による温室効果ガスの増加による。地球温暖化は、気候変動を引き起こし、自然環境に悪影響を及ぼしている。私たちは、地球温暖化を食い止めるために、省エネやリサイクルなどに取り組む必要がある。</p>	<p>身近な環境について</p> <p>私は、身近な自然環境を守るために、ゴミの分別やリサイクルを心がけています。また、省エネの意識を持って、無駄なエネルギーを使わないようにしています。自然環境は私たちの生活に欠かせないもので、大切にしたいです。</p>	<p>身近な環境について</p> <p>身近な環境は、私たちの生活に直接関係しています。例えば、ゴミの分別やリサイクルは、環境をきれいにするだけでなく、資源を節約することにもつながります。また、省エネの意識を持って、無駄なエネルギーを使わないようにすることは、地球温暖化を食い止めるために大切なことです。</p>	<p>身近な環境について</p> <p>身近な環境は、私たちの生活に直接関係しています。例えば、ゴミの分別やリサイクルは、環境をきれいにするだけでなく、資源を節約することにもつながります。また、省エネの意識を持って、無駄なエネルギーを使わないようにすることは、地球温暖化を食い止めるために大切なことです。</p>
--	---	--	--

校内研修の道徳科で内容項目D-(20)自然愛護について授業を実施後、生活を通して振り返りを書く際に、国語の表現力が活かされ、具体例を挙げながらまとめることができるようになった。

② 全校での取り組み

短作文の実践について

短作文は昼の帯時間(15分間)で実施した。

下の表だけでなく、学年に応じて物語のあらすじや要約、要旨といった内容にも取り組んだ。

	低学年	中学年	高学年
1学期	朝起きたら 季節が変わって 宿題 縦割り遊び お話の紹介	カレーライス	カレーライス
2学期	除草作業 昼休み 自然の紹介 秋 好きな教科 持久走記録会 オリジナル物語	掃除の仕方 桃太郎 わくわく花植え 食べたいもの ぼくの世界君の世界 レクをするなら 行きたいところ 読みたい本 安食台小学校との交流 持久走大会 ほしい物 いじめ問題 雪わたりの魅力	掃除の仕方 桃太郎 わくわく花植え 食べたいもの ぼくの世界君の世界 レクをするなら 行きたいところ 読みたい本 安食台小学校との交流 持久走大会 ほしい物 いじめ問題 雪わたりの魅力
3学期	雪遊び 冬 はなさかじいさん できるようになった こと 将来の夢 マラカスづくり	冬休みの思い出 給食 好きな食べ物 放課後 はなさかじいさん おもちゃ作り 雪遊び 6年生を送る会 進級してから	雪が降ったら もし十万円あったら 学力テストに向けて 学力テストを終えて みんなのために 私の流行語大賞 歴博への校外学習 進級に向けて

低学年（2年生）

○	を	こ	を	学	○
さ	し	た	そ	校	こ
あ	み	つ	し	の	た
学	て	も			
校			じ	ト	く
へ	ド	ぐ	カ	イ	を
出	了	ん	し		
発	を	て	グ	に	て
で	あ		あ	い	さ
す	け	ラ	ま	キ	あ
	た	ン	つ	ま	さ
	ら	ド	た	す	ご
		セ	ら		は
		ル			ん
					て

い
な
と
思
い
ま
し
た。
よ
い
な
に
お
お
く
る
会
に
た
め
に
が
ん
ば
れ
ま
し
た
わ

で	は	す	た	ん	ど	本	番	ん	こ
い	二	。こ	ば	れ	大	は	に	し	は
き	年	六	は	ま	き	ど	い	た	わ
ま	生	年	は	し	な	き	っ	た	を
し	の	生	が	ド	た	声	ど	り	し
た	コ	が	な	ッ	を	き	ば	い	と
の	一	な							
六	ト	げ	ジ	た	出	だ	い	い	る
年	の	た	ボ	の	し	し	し	サ	会
生	は	ボ	し	て	た	ま	ル	の	し
は	す	じ	ル	か	け	し	を		
す	ま	ル	で	わ	れ	た	本	く	ん
ご									

- ・最初は場面の設定することで書けたが、最終的には、自分で場面を設定して書けた。
- ・文字数が100文字から120文字程度に増えた。
- ・順序よく書くことができたようになった。
- ・自分の気持ちを詳しく書けるようになった。

中学年（3年生）

や	し	音	ま	番	に	え	す	
っ	せ	読	で	ご	ん	。ま	ず	
と	い	は	漢	う	月	び	下	学
終	を	家	ド	書	日	き	ど	
わ	正	り	き	消	を	う		
っ	し	で	り	ま	曜	し	入	て
た	て	ヤ	ル	す	日	ご	れ	漢
よ		り	を	す	を	む	ま	字
	っ	す	な	そ	書	を	す	ノ
	か	が	ら	で	ま	し	ふ	ト
	り	は	ら	で	ま	し	ふ	ト
	と	っ	書	す	ま	で	を	
	読	き	き	①	す	ば	ひ	
	み	り	ま	か	そ	こ	ら	き
	ま	と	す	ら	し	つ	か	ま
	す			⑩	て	ぎ	ら	ま

記	も	テ	ま	で	す		
録	三	ニ	す	一	一	ぼ	
さ	つ	エ	ン	フ	番	く	
こ	目	日	グ	目	新	習	目
し	は	に	七	は	し	う	は
て	か	回	い	そ	漢	生	て
	五	な	と	サ	熟	う	漢
八	十	ら	ッ	語	な	字	で
秒	メ	ズ	ホ	カ	も	カ	で
五	一	練	レ	イ	た	く	も
で	ト	習	イ	で	く	も	四
走	ル	し	キ	す	さ	っ	年
り	走	て	ッ	さん	お	も	生
は	て	い	ク	サ	お	も	が
は	き	す	ま	で	ッ	ぼ	と
た	い	す	す	カ	え	と	小
い	三	年	の	ニ	の	い	ん
で	生	の		つ	り	て	校
す	の			と	フ	す	の
							間

- ・文字数が150文字から200文字に増えた。
- ・自分の頑張ったことを順序だてて説明することができるようになった。
- ・文末表現を統一することができるようになった。
- ・サッカーの用語など知っている語句を用いて文章を書き表すことができるようになった。

B

	完			そ	か	て		
	成	最	必	入	や	か	次	ま
	に	後	ず	れ	わ	ら	に	ず
	な	は	ル	ま	り		肉	初
	り		い	す	か	火	と	め
	ま	ご	か		く	を	野	に
	す	飯	こ		な	入	菜	
		に	け			れ	を	肉
		カ	る		た	こ	が	と
		レ	ま		さ	に	バ	野
			い			ニ	に	菜
		も	に		カ	み	入	を
		か	こ		レ	ま	れ	切
		け	み		い	す	こ	り
		れ	ま		の		り	ま
		は	す		ル	野	た	す
					い	菜	の	

上手に段落を分けて読めます。

大	の	に	間	が	食	美	学	
賞	し	に	と	わ	人	派	一	私
は	思	て	一	好	り	れ	川	の
	い	り	回	き	ご	か	と	生
パ	出	て	こ	に	ま	か	思	の
ン	に	体	な	る	つ		時	語
に	残	首	木	り	ぐ	た	た	大
し		の	曜	ま	ら	け	か	給
ま	て	お	日	せ	い	ご	ら	賞
し	る	に	た	食	高	ご	で	
た	る	日	ご	バ	学	す		印
	そ	は	る	ハ	れ	年		初
	の	の	の	る	に	下	め	こ
	な	想	ご	は	よ	が	学	て
	の	張	い	う		年	ハ	
	ご	つ	給	に	て	の	ン	理
		も	食	な	く	時	を	申
	流	行	た	何	て	と	余	心
	行	た	の	め	週	も	あ	り
	話	の						て

- ・文字数が150文字程度から200文字に増えた。
- ・自分の経験を踏まえた書き方ができるようになった。(□)
- ・読みやすいように言い換えることができたようになった。

C

	成			ル		次		
	で	最		そ	い	に	最	
	す	後		し	を	水	初	
		に		て	入	に	に	
		ご		ハ	入	肉		
		ぼ		ル	ま	野	木	
		ん		い	す	菜	て	野
		に		ガ		カ	に	菜
		カ		と		や	こ	を
		レ		け		れ	み	な
		い		る		ら	す	べ
		を		ま		か	す	ご
		か		で		く		い
		け		に		な		た
		未		て		た		め
		は		み		た		こ
		完		ま		い		

ふじの中、おりのことを書いています。

ご	て	つ	た	で	ゲ			
す	こ	と	た	調	ム	理	僕	
	友	思	言	が	べ	由	の	
	達	い	わ	ら	て	を	ば	流
	と	出	れ	で	色	知	行	
	そ	し	た	す	々	小	語	
	の	て	れ	な	な	学	大	
	話	友	で	一	こ	面	一	
	さ	違	い	年	と	白	年	
	し	も	お	生	分	そ	生	
	た	っ	し	の	分	う	の	
	り	東	友	時	か	た	こ	
	で	方	だ	お	り	内	が	
	ぎ	レ	た	お	母	容	が	
	た	に	け	ど	さ	ガ	ス	
	り	は	ど	五	人	マ	マ	
	で	ま	年	に	気	ホ	と	
	面	白	で	に	た	に	な	
	白	い	な	め	な	ど		

- ・文字数が100文字程度から200文字程度に増えた。
- ・文中に具体表現が増え、読み手にその時の状況を伝えられるように書くことができたようになった。

6 成果と課題

(1) 仮説1に対して

成果

スモールステップを取り入れたことで、児童が文章を書く中で自分の考えを中心に、理由や根拠を書くことができるようになった。

ICT 機器の活用により、わからない漢字を調べる等の時間短縮による書く時間の確保が容易になった。

ワープロソフトの自動文章校正によって誤字脱字の減少につながった。

タブレットを活用することによって、ほかの児童の作品を参考にする機会が増え、自信をもって書くことができる児童が増えた。

文章に結論とその根拠をしっかりと書くことができる児童が増えた。

課題

すべての第6学年の児童を最終ステップまで引き上げることができなかつたので、発達段階に応じた改善が必要であると考えられる。

タブレットのタイピングスピードに個人差が多くあるため、家庭学習などでタイピングの練習をする必要があると考えられる。

(2) 仮説2に対して

成果

廊下掲示では、読み手の興味を引くような文章を考えようとする児童が増えた。

各授業のまとめや振り返りを書く際に、児童たちが他の人の目に触れることを意識して、他学年でもわかるように書こうとする児童が増えた。

全校で書く活動に取り組んだことにより、指定された文字数まで書こうとする児童が増えた。

低学年は物事の順序に沿って書き進めることができるようになった。

中学年は、自分の考えを文中に書き表すことができるようになった。

高学年は場面に応じた書き方を工夫するようになった。

課題

廊下掲示は、単元のまとめに有効だが、毎回同じような書き方をしている児童がいるため、素材に工夫を入れる必要があると考えられる。

短作文は文章を書く能力に個人差が多くあり、個にあった支援が必要であると考えられる。